

16・HHMニュース21号

『HHMにゅーす』は、ホームホスピス宮崎の新しい動きや情報、ボランティア活動のあれこれなどをお伝えします。

梅雨の雨に庭先の紫陽花が鮮やかです。皆様、いかがお過ごしでしょうか。HHMの本年度の事業がスタートしてすぐに熊本地震が occurred。全国ホームホスピス協会事務局の運営を担っていることもあり、本震が起こった日すぐに“熊本地震われもこう支援対策本部”を設置し、ホームページなどで全国に呼びかけました。早速会員の方はじめ、全国の方々からスタッフ派遣の申し出や支援物資、支援金の振り込み（6月末現在1,346,670円）などたくさんのお気持ちをお届けいただきました。築50年を経ている民家の「われもこう」は、瓦が落ちたり壁にひびが入りましたが、幸いにも住人の方々の命を守ってくれました。近隣の方々のご自身も被災しているにもかかわらず「大事ないか」とすぐに駆け付けてくださったことなどをお聞きし、改めて地域に根を生やした活動でなければと実感しました。昨夜も熊本地方で揺れ、なかなか終息となりません。皆様の義援金はすべて「われもこう」の復旧のために使わせていただくとともに、この紙面を借りてお礼申し上げます。

そして、本年度の通常総会を5月31日に開催しました。一年の活動をまとめ事業報告書を作成する過程で、それぞれのボランティア活動の実践が見えてまいります。暮らしの保健室がオープンして1年ですが、ゆるりサロンに集ってこられる方々が「あー楽しかった」と帰られる様子や、えがおキッチンからは親子でエプロンをつけて元気な声が響き、また、今年からはゆるり短歌教室が加わりました。このような解放されてゆっくりできる居場所の存在が、地域にとって必要だと改めて思います。

かあさんの家は、今年に入って6名の方をお見送りいたしました。それぞれ困難な病にもかかわらずご自身の命を精いっぱい生ききって逝かれました。ご家族は泊まり込んで寄り添っておられ、最期には慰労と感謝を述べられました。そんな様子に接するたびにスタッフは多くのものを学ばせていただきます。

又、昨年は曾師と月見ヶ丘は、日本財団の支援を受けて改築し、スタッフが台所をしながらも住人の方々の様子を見ながらケアできるようになり、IHヒーターを導入しオール電化になりました。今、それぞれの家に新たな住人の方が仲間に加わってこられています。

平成28年度は、0歳から100歳まで宮崎のまちで安心して暮らせるようにと、フォーラムを計画しています。どうぞ今年1年も、皆様のご支援と応援をよろしく願いいたします。

かあさんの家 お花見会

5月7日(土)にかあさんの家入居者、ご家族、スタッフ総勢50人で『フローランテ宮崎』へ行きました。雨の合間で少し蒸し暑かったため、早めに帰ることになりましたが、一緒に食事をして、きれいな花を見て、とても楽しい時間となりました。



●ご報告●

平成28年度定期総会は、平成28年5月31日ホームホスピス宮崎暮らしの保健室で開催され、全ての議案審議は滞りなく終了しました。会員各位のご協力、ご支援に対し厚くお礼申し上げます。

出席：本人出席10名
委任出席14名
オブザーバー5名



事務局だより

皆さん、お待たせしました！1年ぶりのニュースレターです。この1年は、毎月の「暮らしの保健室だより」や時々ブログ発信が主となり、ご無沙汰してしまいました。不定期発行のニュースレターですが、今年度もよろしく願い致します☺